

# 武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

平成25年10月15日

vol.11

発行 | 武蔵野市環境部ごみ総合対策課  
住所 | 〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5武蔵野クリーンセンター内  
電話 | 0422-60-1802  
E-mail | sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp  
ホームページ | <http://www.city.musashino.lg.jp/>

## 環境にやさしいライフスタイル 毎日のお買い物から、ごみの減量！



10月15日から  
11月15日は

### 「マイバッグからはじめる プチエコキャンペーン」です。

毎日のくらしから出る容器包装プラスチックのごみをへらすには、リサイクル(再資源化)よりも、リデュース(減らす)することが大切です。

10月は3R推進月間として全国でさまざまな取り組みがおこなわれており、武蔵野市でも「マイバッグからはじめるプチエコキャンペーン」を実施します。毎日のくらしの中でどうしたらごみを減らせるか？

不要なレジ袋をもらわない・詰め替え容器を購入するなどの身近な取り組みにご協力ください。



#### 協力企業一覧

商店会連合会・スーパーマーケット  
・コンビニエンスストアなど

グルメシティ関東 京王ストア エコス ビッグ・イー サミット 東急ストア イトヨーカ堂 紀ノ国屋 コープみらい  
西友 ライフコーポレーション アトレ コミュニティ・ストア サンクス スリーエフ セブン-イレブン ファミリーマート  
ミニストップ ローソン 武蔵野市商店会連合会 小田急バス 関東バス



# リサイクルできる紙を捨てていませんか？

## きちんと分ければリサイクルできる 雑紙(ざつがみ)が捨てられています

武蔵野市のごみの分析調査によると、「燃やすごみ」の中には、たくさんの資源がまざって捨てられています。

その中でもとくに目立つものがリサイクルできる小さな紙類。『雑紙(ざつがみ)』とよばれています。

雑紙は、新聞・雑誌・古本・ダンボールなどとはちがい分別しないで捨ててしまいがちですが、毎日のくらしのなかで、すこしだけ意識して分別すればリサイクルできる資源となります。

ちいさな一歩から大きな資源となる『雑紙』の分別リサイクルにご協力ください。



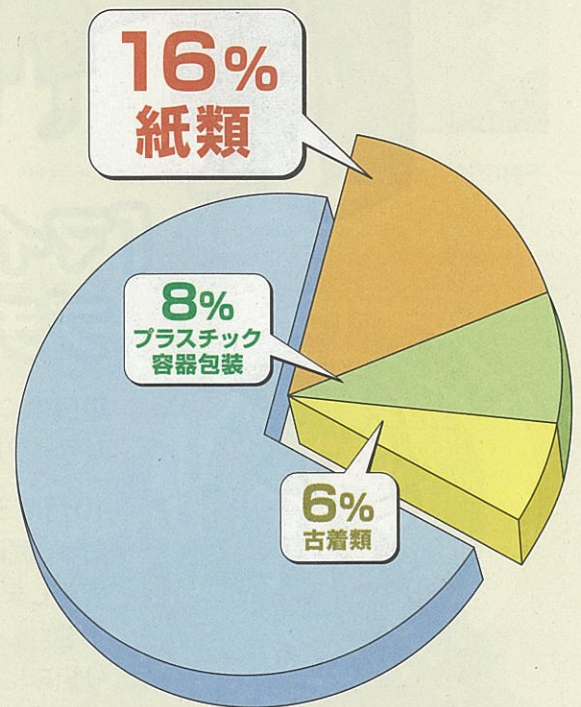
## 『燃やすごみ』のなかに16% リサイクルできる紙資源

平成24年の武蔵野市の調査では『燃やすごみ』の中に約16%もリサイクルできる紙類が含まれていました。

単身者向けの集合住宅では特に紙資源の混入が多いことから、大きな課題となっています。



『燃やすごみ』の中で見つかったリサイクルできる紙類



『燃やすごみ』に混入した資源類  
(平成24年度調査)

## リサイクルできる『雑紙』はどんな紙？

- 包装紙
- はがき・封筒
- 紙箱・化粧箱
- ちらし・パンフレット
- メモ用紙 など…

くらしの中から出る古紙類で、新聞・雑誌・古本・ダンボール等に分別できないもののことを『雑紙』とよんでいます。



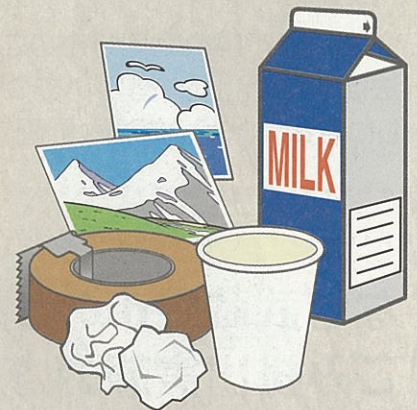
## リサイクルできない紙もあります

- 汚れた紙
- カーボン紙
- 感熱紙
- ティッシュペーパー
- ガムテープ
- ビニールコート紙
- 写真
- 油紙
- アルミが貼られた紙
- 防水加工紙（紙コップ等）
- においのついた紙
- 紙パック など…

これらの紙は、リサイクルを妨げ、再生紙の品質を低下させます。

『燃やすごみ』として処理してください。

※紙パックは市内スーパー・コミュニティセンターなどの拠点回収に出してください。



## 雑紙を資源ごみに出すには

回収時に散乱しないように、紙袋やビニール袋に入れて『雑紙』と表記して、他の古紙類といっしょに資源ごみの日に出してください。

ぬれると、リサイクルできなくなる場合がありますので、雨の日はできるだけ避けてお出してください。



ビニール袋に入れて



紙袋に入れて

## まぜないで!! アイロンプリント紙



詰めものとして使われているアイロンプリント紙  
(提供 公益財団法人 古紙再生促進センター)

布にアイロンの熱で絵柄をプリントするアイロンプリント紙。昇華転写紙（捺染紙）とも呼ばれていますが、最近ではカバンや靴の詰めものにも使われています。

アイロンプリント紙が古紙に混入すると、染みが発生して大量の再生紙が使えなくなります。（A4サイズのアイロンプリント紙が1枚混ざると100トンの再生紙が使用不能になります）

アイロンプリント紙は古紙にまぜずに、『燃やすごみ』として処理してください。

# 武蔵野市のごみ処理

## 今後のありかたについて考えています



### 武蔵野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画ってなんですか？

ごみ処理のあり方や、資源循環型社会実現のための取り組みについて、武蔵野市が定める基本的な計画が『武蔵野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画』です。

関係法令や社会状況の変化にあわせて計画は改訂されており、今年度はその改訂年にあたります。

今後、数年間の武蔵野市のごみに対する様々な取組方法は、この計画に基づいてつくられます。私たちの暮らしに直接つながる重要な計画です。

### 1人1日あたりのごみ排出量

(平成24年度多摩地域ごみ実態調査より)

武蔵野市	676.7g
多摩地域の平均	614.3g
多摩地域の最小	553.0g

### なぜ武蔵野市のごみ量は多いのか？ ごみ排出実態調査を実施しています

武蔵野市は、市民1人が1日に出すごみ・資源物の量が676.7g(平成24年度)と、東京多摩地域の中ではごみ量が非常に多い自治体です。

吉祥寺地区を中心に、小規模な事業者のごみ排出量が多いことや、単身世帯が多いことがその原因と言われていますが、正確な理由はわかっていません。

市民ワークショップ・アンケート調査・小規模事業者調査・モニター調査などのさまざまな調査を行うことで、「なぜ武蔵野市のごみ量は多いのか？」という点を調べて、計画に反映させていきます。



6月～7月に開催された市民ワークショップの様子

### ～計画について話しあう～ 『ごみ市民会議』を開催します

『武蔵野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画』については、市民・事業者・行政の三者が協働してそれぞれの役割について取り組んできました。

今後の計画のあり方についても市民、事業者、学識経験者及び市職員で構成された会議『武蔵野市廃棄物に関する市民会議』（通称：ごみ市民会議）を開催し、議論をすすめていきます。

